

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	伊豆医療福祉センター 児童発達支援事業「ボレボレ」		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 28 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 28 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 10 日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの利用児が主体的に活動参加できるようにそれぞれの発達段階や身体状況に合わせた活動提供をしている 姿勢、感覚、コミュニケーションを大切に支援している 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児がより主体的に参加できるように、積極的に情報収集や研修等で知識を得ていくよう努める 活動内容によって、専門職種に相談し、一人ひとりの成長に沿った支援ができるよう取り組んでいく
2	・多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> 看護師、保育士が常に同じ情報を共有しながら、支援ができる体制 医療、リハビリ、家庭との連携を重視し、支援している 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の情報共有を継続し、カンファレンスを通して支援内容を検討し、一人ひとりに応じた支援の向上を図る
3	・医療を含めた安全な支援	<ul style="list-style-type: none"> 看護師と保育士が連携し、医療ケア児が安心して利用できる体制を整えている 体調変化への迅速な対応を心掛けている 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア児が安心して過ごせる環境整備や安全管理を継続し、子供たちが落ち着いて過ごせる場所を作れるように大切にしてい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児の体調や医療的ケアの状況により、日によって欠席が重なることがあり、集団活動の実施が難しい場合がある	<ul style="list-style-type: none"> 重心児は体調変化が起こりやすく、感染症や体調不良などにより欠席が重なることがある 体調管理を優先にするため、日によっては利用人数に変動を生じることがある 	<ul style="list-style-type: none"> 個別活動の充実化 活動内容の工夫(個別でも集団でも子どもが主体的に取り組める内容) 当日の利用状況や体調によって、柔軟に活動内容を調整する。体調に合わせて個別活動に切り替える
2	・サービス提供に際しての人員の確保基準は満たしているものの、急な体調変化への対応や個別支援の充実をはかるための余裕ある職員配置には至っていない	<ul style="list-style-type: none"> 重心児の支援や医療ケアに対応できる専門職の確保が難しい。専門職の採用が限られているため十分な人員体制の確保が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の業務や連携をより明確化し、効率的な支援体制づくりに取り組む
3	・地域交流の機会がない	<ul style="list-style-type: none"> 重心児の体調管理や安全面での配慮が必要なことから、地域交流の機会の確保ができていない 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの体調や状況に配慮しながら、近隣の公園や地域施設の利用、地域行事などの情報収集を行い、可能な範囲で地域とのつながりをもてる機会を検討していく